

平成23年度年間授業計画（第6学年国語）

月	学習内容(単元)	
4	・ 風切るつばさ(物語) ・ 表現をくふうして書こう	【国語への関心・意欲・態度】 ○ 国語に対する関心をもち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする。 【話す・聞く能力】 ○ 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする。 ○ 目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章を書く。 【読む能力】 ○ 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。 【言語についての知識・理解・技能】 ○ 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。 ○ 書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の筆使い、文字の組み立て方、字配りなどを理解して文字を正しく書く。
5	・ イースター島にはなぜ森林がないのか ・ 学校の良さを宣伝しよう	
6	・ ばらの谷 ・ 新聞の投書を読み比べよう	
7	・ 「わたしの意見」を書こう	
9	・ 詩と短歌を味わおう ・ 毛筆「成長」「湖」「あこがれ」	
10	・ 海のいのち	
11	・ 未来に生かす自然のエネルギー	
12	・ ヒロシマのうた ・ ふるさとの良さをしょうかいしよう	
1	・ 豊かな日本語の使い手になろう	
2	・ 未来に向かって	
3	・ 毛筆「世界平和」「伝統を守る」「未来の夢」	
年間授業時数		175
授業の工夫	○ 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項の定着に向けて、ワークシート等を活用し、小単元も大切に扱う。 ○ 自分の考えを明らかにしたり、授業で学んだことをまとめたりするために書く活動を多く取り入れる。 ○ 学び方を身につけさせるためにめあてや学習計画を大切にするとともに、ねらいに応じてグループ学習などさまざまな学習形態を取り入れる。	
評価について	○ 単元ごとに行うテスト、適宜行う小テスト(読み取りテスト・漢字テスト等も含む)、提出物、作文・感想文・学習のまとめなど具体物等によって評価する。 ○ 学習の結果のみでなく、学習に対する姿勢や発言回数・内容等の学習の経過も評価していく。 ○ 自己評価や相互評価を大切にす。	
学習方法(家庭学習)など	○ 音読(本読み)は、学習の基本であり、より多くの人からの肯定的な評価が意欲の継続につながる。家庭での励ましや声かけの協力をよびかける。 ○ 読書は、国語の基礎的な事項の定着からも、情緒的な面からも重要であり、習慣化することが大切。家庭で継続して行うようにする。 ○ 日記は、日々の生活を文字に表すことにより、自分の生活の振り返りにも役立つ。文章を書くことへの抵抗を少なくするためにも継続が必要であり、毎日課題として行う。 ○ 字を丁寧に書くことが正しく覚えるための第一歩と捉え、姿勢良く落ち着いて学習できるよう協力を促す。	